



倉持裕二 >

< 藤本暢之

< 高橋 亮

渡邊みなみ >

< 長尾奏美

< 飯島 学

久保田 潤 >

木下仁資 >

上田恵里花 >

池田 純 >

< 川村真悟

< 角田憲彦

アンケート

- 1 研修所に来る前何をしていたか？
- 2 研修所に来て一番印象に残っていることは？
- 3 趣味
- 4 好きなアーティスト（音楽とは限りません。敬称略）
- 5 自己PRしてください。

1年生

渡邊みなみ (わたなべ・みなみ)

1985年4月14日 新潟市

1. 新潟県警察音楽隊のカラーガード隊（フラッグなどの手具を使って演技します）
2. ここへ来て、初めての行事“お花見”でリーダーを任されたことと、柿野浦に“渡辺”さんと“南”さんという方がいらっしまったこと。
3. 舞台鑑賞、ぼーっと景色を眺めること、映画館で観る映画
4. もたいまさこ、松山ケンイチ、新潟県警察音楽隊、小林聡美、BLUE、小田和正
5. 前の職場でもここでも「子供みたいだね」と言われ、頭をなでられる23歳です。よく色々なキャラクターに似ていると言われ、皆に可愛いがってもらっています。研修生の中では一番、体が柔らかいですが、頭は少し硬いです…。

鼓童との出会いは中学校の交流公演でした。「温かい気持ちにさせてくれる人たちだなあ」と興味を持ち、自分も“あの輪の中に加わりたい”という想いで研修所に来ました。家族・友達・先輩・後輩…と沢山の人達に応援してもらい、とても幸せ者だなと思っています。絶対、後悔しないように1日1日を大切に過ごしていきたいです。

川村真悟 (かわむら・しんご)

1984年3月24日 福岡県春日市

1. パチンコ屋さんで毎晩、釘調整&設定変更
2. 気温の違い。地元と比べて、とにかく寒い。冬期間がコワイ…。
3. ドライブ、読書、ネットサーフィン、スポーツ全般。しかし、研修所に来て、どれも手についてないです。
4. Hi-Standard、石田衣良、高橋歩、相田みつを、井上雄彦、葛原正巳
5. これは自分の両親も読んでくれる可能性が非常に高いので、少し真面目に書きます（笑）。佐渡に来て8ヶ月程たち、本当に色々な事を学びました。簡単に例えるなら、毎日毎日、少しずつ自分の常識が覆されていくような感じです。

鼓童の研修所とは、色々な意味で本当にすさまじい所です。当たり前のように過ぎていく毎日ですが、研修所に居て学べる事は、当たり前だ、と勘違いせぬよう、又、ここで学べる事に対して感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

進級の選考まで、あと2ヶ月余り。どんな結果になろうと、後悔だけはしないよう、残された研修所生活を精一杯がんばります。地元みんな！ いつも応援ありがとう♡

藤本暢之 (ふじもと・のぶゆき)

1973年2月28日 千葉県松戸市

1. IT企業のサラリーマン
2. 季節毎の虫と仲良くなれること
3. 神社仏閣巡り、音楽鑑賞 (R&B)、美味しいものを食べる
4. Josh Groban、Stevie Wonder、Diana Ross、Beyonce、Usher、Bette Midler、Madonna、Ernie Barnes、Marvin Gaye、藤本木田、高森共子、沢木耕太郎、浅田次郎、見留知弘、辻勝
5. 「研修生最年長の藤本です」と言い続けて、早8ヶ月。時の経つスピードが年々早くなってはいたが、2008年ほど早い年もないだろう。4月3日の入所以降、めまぐるしく過ぎゆく毎日をどれだけ意識を高く持ったまま過ごせるか。2年前は、太鼓や鼓童にまるで興味のなかった僕が、今、研修所にいるというこの現実。安定した生活を捨ててまで、飛び込もうと思ったあの日のことを決して忘れてはいけない。

そのためにも僕は言い続けているのかもしれない。

角田憲彦 (つのだ・のりひこ)

1979年2月22日 東京都あきる野市

1. 会社員
2. 田んぼ作業の全て。初から選別し、苗を育て田植えをし、収穫の時は胸がいっぱいになりました。
3. 読書、映画・舞台・音楽鑑賞、ストレッチ
4. Simon & Garfunkel、Norah Jones、山本周五郎、高田渡、KOKIA、カクスコ、ソーントン・ワイルダー
5. 現在29歳。来年はとうとう30歳、三十路へと突入です。私は研修所に来る前、太鼓の団体を主宰していました。地元のお祭りなどに参加する機会もあり、そこで地域が抱える問題がある事を知りました。

研修所には太鼓団体と地域の関わり、つながり方を学ぶ為に来ました。佐渡の人々はとても温かく、四季折々の自然も美しく、とても豊かな所です。そんな中で、日々稽古に邁進しております。



上田恵里花 (うえだ・えりか)

1985年11月28日 北海道

1. 建築やまちづくりを学ぶ芸大生
2. 岩首の祭りでの、最後まで気力で打ちに向かう鬼の姿と、熱い地元の皆さんに習い語って飲んだ二週間の稽古。
3. 舞台・音楽鑑賞、町並み観察、筆で字を書くこと
4. 久石 譲、オキーフ、クリスチャン・ラッセン、LOVE PSYCHEDELICO、aiko、石川直
5. 北国育ち、雪が大好きな23歳です。研修所にくる前は、一日計12時間バイトをしつつ大学へ行き、太鼓と鬼剣舞にはまり…結果、睡眠時間2、3時間の日々を送っていました。そうして掴んだ研修生活は、“今ここでしかできないこと”が目白押しで、自然のエネルギーや季節の移り変わりも、毎朝肌で感じ、貴重な時間を過ごしています。今の生活を糧に、自分に正直に、前向きに！太鼓に踊りに励んでいきます。

高橋 亮 (たかはし・あきら)

1990年1月30日 宮城県仙台市

1. 高校生でした
2. 一番最初に打ったのが和太鼓じゃなくて、サンバの楽器だった事
3. 本を読む事
4. ニッケル・バック、スリップ・ノット、チルドレン・オブ・ボトム、矢野真紀
5. 高校を卒業してすぐに研修所に来ました。平成2年生まれ18歳です。これを言うといつも18歳には見えないとされます。(苦笑)

この研修所に来てたくさんの経験をし、色々な出会いをして太鼓の技術だけではなく、精神面の強化の方が、どちらかと言うとありました。精神面が充実していると心から太鼓に向かう事が出来るのだと思います。

自分はまだまだですが、色々な出会いをし、経験をして心から太鼓に向かう事が出来るプレイヤーになりたいと考え日々、稽古しています。こんな18歳ですが、よろしくお願ひします。

久保田 潤 (くぼた・じゅん)

1983年11月17日 兵庫県神戸市

1. 大学を卒業後アルバイトをしながらやりたい事を探していた。
2. 浜河内の鬼太鼓。“祭り”のイメージが全く違ってカルチャーショックを受けました。
3. 身の周りのこまごましたものを修理する事。音楽を聴く事。
4. 宇多田ヒカル、Mr.Children、徳永英明など
5. 中学の終わりに太鼓に出会い、高校の部活動ですっかり太鼓好きになりました!

大学を出て、やりたい事を見付けられずにいた自分が救われたのも、やはり太鼓によってでした。人生を変えた太鼓のお陰で、太鼓以外での貴重な体験もでき、一人の人間として成長していったのかなぁと感じています。これから先の生活でも、沢山の感動を頂きながら悔いのない毎日を過ごしたいです。

木下仁資 (きのした・ひとし)

1983年10月15日 福井県大飯郡おおい町

1. 地元のパチンコ店でアルバイト
2. KASA/MIXというイベントで、研修所にたくさんの外国の方をお招きした時に、言葉もなかなか通じない外国の方と太鼓をたたいていっしょに笑い合えたこと。
3. 読書
4. the pillows、豊田三郎
5. 私は昨年、はじめて鼓童の研修生に応募しました。しかし残念ながら落ちてしまいました。私はなぜ自分が選ばれなかったのか考え、そして自分が見た目や、他人への受け取られ方ばかりを気にして「素」の自分を出していなかった事に気がつきました。今年、2度目の応募では、外づらは気にせず、素の自分を出す事を心がけて、今こうして研修生になることができました。まだまだ人前になると見栄をはってしまう所がありますが、なるべく自然体で自分らしい自分の太鼓がたたけるようになるために、日々稽古にはげんでいます。
ところで、私は大学でウニを研究していました。ウニでお困りの方は私にご相談下さい。

飯島学 (いじま・まなぶ)

1984年4月2日 埼玉県

1. 教育学を学ぶ大学生。主に社会教育という専門で勉強していました。
2. いろいろあり、どれも一番なのですが、あえて言うならば「KASA/MIX」です。米国の方を中心に、さまざまな芸能を媒介にして交流できたことは貴重な経験でした。よく音楽は国境を越えるとか、言葉がいらなくと言いますが、まさにそれを実感できました。このような小さな感動、大きな感動が世界の一人ひとりになれば、お互いを尊重し、傷つけ合うことのない平和な社会が築けるのだと思います。
3. 手紙や日記を書くこと。研修生活をはじめると、携帯電話を解約してきました。そのようなことから連絡手段はもっぱら手紙を使っています。文字を書いていると、それが相手にどのように伝わるのかが気になってきます。そして文字に気持ちを込めながら書いていくと、具体的には何が必要となってくるのか考えはじめます。4月の入所日から書きつづった日記は、そろそろノート4冊目に突入します。
4. 上原ひろみ、マイルス・デイヴィス、ヨーヨー・マ、ママディ・ケイタ、グレゴリー・ハインズ
5. とにかく太鼓が好きで佐渡に来ました。ぼくは小中学生の頃に学校へ行けなくなり、自宅にひきこもった経験があります。そんな自分をどうにかしたく定時制高校に入学。そこで太鼓と出会うことになりました。自分で太鼓を叩き、鼓童を知り、多くの発見と大きな喜びが生まれました。昨今、日本は暗いニュースばかり目立ちますが、結果として自分の発する太鼓の音が人を勇気づけたり、元気づけたりできるものになれると思います。そんな太鼓を叩けるために研修生活を送りたいです。



池田純 (いけだ・じゅん)

1990年3月13日 京都市

1. 高校生 (真面目だった気がします)
2. 2時間、正座したこと
3. 寝ること、しゃべること、食べること
4. 阿部寛
5. 京都の金閣寺の裏山からきた、まだなんと18歳の少年です。
まだまだ若くて、元気なのですが…時にはその元気が空回りすることがあります。⇩⇩
ですが!! 元気に頑張りたいです。よかつたら手紙をください。

倉持裕二 (くらもち・ゆうじ)

1989年4月17日 茨城県

1. 高校生
2. 水がおいしい
3. お祭見学or研修所でのいろいろな体験
4. ネリー、金子竜太郎
5. 自分は、夢に向かって毎日、一步一步成長していている19歳の少年です。研修所では日々練習にとりくみ、プレイヤーになるために、毎日うでをみがいています。生活では毎日精神面がきたえられて、また、人としての心が身についていると思います。もっともっと元気に研修生活を頑張りたいと思います。

長尾奏美 (ながお・かなみ)

1983年10月17日 香川県高松市 (さぬきうどんマジでうまいっす)

1. 陸上の自衛官
2. アース・セレブレーションの準備期間で裏方の人たちと接したこと
3. 音楽鑑賞、星をみること、ツーリング (研修所に来る前よくいってました)
4. globe、菅野よう子、梶浦由記、2年生の皆さん
5. 自衛官から、一大決心で佐渡にやってきました。集団生活や重労働は慣れているので、ここでの生活は苦ではありません。でも太鼓は初心者なので稽古はとても難しいです。
果たして、これからの進路はいかに…!